

赤岳山行報告



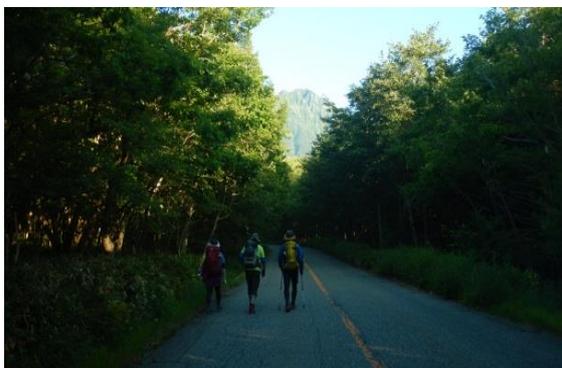
- 7月27日(金) 前夜発日帰り
- 山域：八ヶ岳連峰
- ルート：県界尾根～赤岳～真教寺尾根
- メンバー：CL佐藤 SL江橋 上荒磯 松本(記)

去年、流れた白根三山縦走の計画は今年も台風12号のせいで無期延期となってしまった。天気がくずれる前の一日で急遽、日帰り山行を佐藤さんが計画してくれたのは、CL以外のメンバーは皆初めての赤岳だった。

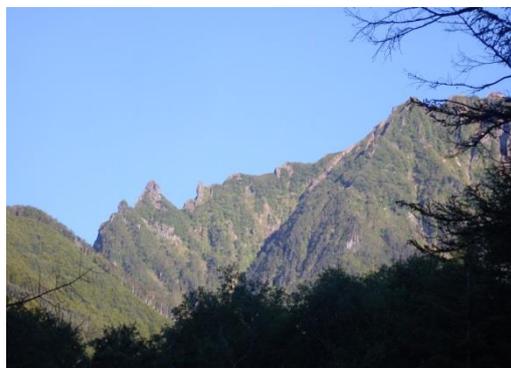
コースは行動時間長くて険しそうな県界尾根、真教寺尾根周回との事熱中症対策や登山道のイメージ等CLからアドバイスがあり、テン泊装備から荷物を減らし少しほっとしたような？気分で出発した。

26日 20:00 千葉発・・・小淵沢道の駅 1:00 仮眠

27日 4:00 起床・・・美し森ロッジ 5:15



目指す赤岳は遙か先



荒々しい岩場がみえる

県界尾根：美し森 5：30～大門沢林道入口 5：50～県界尾根取りつき点 6：30
小天狗 7：20～大天狗 8：30～赤岳 10：45

歩き始めは気持ちのよい林道から始まり、県界尾根へ取りつく時は少し急な登りとなる。台風前とは思えないような好天、南アルプス、奥秩父や富士山もよく見えて気持ちが良い正面に時々望む悠々とした頂上直下の岩場にワクワクしながら小天狗通過、大天狗まで目標のコースタイム 90%ほどで行く事が出来た。前半、トレラン姿の男性とすれ違う。時間的にどこからどうやって来たのか？また、後から抜かしていった可愛い顔の女の子（木の杖、ジャージ、ゴム製スニーカー）が不思議だった。色んな山登りのスタイルがあるものだ。



左が県界尾根 右が真教寺尾根



気温も風も気持ちのよい朝

木の様子が変わってきて岩の壁が現れるところからは険しい登りとなる。鎖やハシゴが設置されており、手がかり、足掛かりを探して慎重にさえ登っていけばぐんぐん高度が上がっていくので坂道を歩くより面白い。2時間も岩場の登りに要したように感じなかった。



トンボが沢山



長い鎖やハシゴも沢山

赤岳天望荘が目線より低くなり、お腹も空いて集中力にかけてきた頃、山頂に着いた。嵐の前の静けさと平日という事で山頂は居心地満点。阿弥陀岳を眺めて雪山テン泊を思い返したり、小屋で買い物したりと1時間もの間のんびりした。



横岳と硫黄岳



ハヶ岳ブルー

真教寺尾根：赤岳 11：45～牛首山 15：05～リフト山頂駅 16：00～美し森 17：00

帰りは距離が 500mほど長く足も疲れているので気を引き締めて 17：00 駐車場着を目指し下山を開始する。佐藤さんからなるべく前向きに降りるように言われ、2時間以上かけて急な岩場を下っていく。私にとって今回のこの長さの鎖場の経験は初めてだった



小石を落とさないように気を付けて歩く



この下部で上から落石

一度だけ上部からの「らく！」という声に振り返ると、江橋さんの頭上を直径 10 cmほどの石が勢いをつけてかすめて行くのを目撃。当たらなくて本当に良かった。自分も小石を落としたりしたので、十二分に気を付けないとならない。樹林帯に入ってから歩きやすくなるが、牛首山の看板までずいぶん遠く往路とは体感的に倍くらいの距離があるように思った。

ようやくリフト山頂駅に着き、洒落たテラスで観光客に紛れてコーヒーを飲んで休憩。

そして美し森の駐車場にほぼ予定通りの下山時刻に到着した。

パノラマの湯という露天風呂が池みたいに広い甲斐大泉温泉に立ち寄り帰路についた。



半世紀以上前の登山ブームには登山者が尾根に列をなしたという県界尾根はビューポイントがたくさんあり、大門沢をはさんで平行に伸びる真教寺尾根と共に自分の登ってきた道、帰る道が見下ろせ、また上部の岩登りも緊張しながらも登れるので、変化に富んでいてとても楽しいコースでした。

佐藤 OL、皆さまありがとうございました。